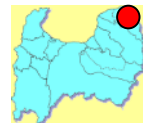


朝日町 笹川地域



○概要

朝日町の中心部から車で15分程度の距離に位置しながら、
周囲から隔絶された感のある山間集落。

○人口 238人(R4.7)(H15.4:411人)

移住者 9世帯18名(モデル地域指定後:H25~R3年度)

海外(スイス、チェコ)からも各1世帯移住。

○想定される定住者

地区行事等に積極的に参加してくれる方。

・実行委員会名「かがやきプロジェクト実行委員会」
(設立日H25.12.20)

・8つの分科会を設置

交流・体験施設推進チーム、特産品の充実推進チーム など

・対象地域:笹川地区

・目指すべき姿:

子供の声がこだまする「安全・安心な里」笹川を目指す。

【これまでの取組み】

笹川まち歩きマップの作成、都市圏へのPR活動、空き家を活用した宿泊体験・交流施設「さゝ郷ほたる交流館」(朝日町が整備)の管理 等

【今後の方向性】

さゝ郷ほたる交流館を活用した移住希望者の受入れ 等



笹川地域一帯



鍬絵(こてえ)のある土蔵



まち歩きマップ



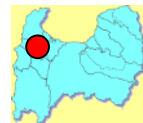
実行委員会での打合せ



さゝ郷ほたる交流館

た か お か か な や ま ち

高岡市 金屋町



- 概要
約500mにわたって続く石畳の道と格子造りの古い街並みが特徴。前田利長による高岡銅器発祥の地。
 - 人口
543人、235世帯(R4.6) (S59.4 約2,400人、約450世帯)、
移住者 15世帯(モデル地域指定後:H25~R3年度)
 - その他
H24年に国の重要伝統的建造物保存地区に選定。
 - 想定される移住者
鑄物の伝統を引き継ぐ職人をめざす方や、金屋町のまちづくりに取り組む方。
- ・実行委員会名「金屋町元気プロジェクト」(設立日H25.11.25)
 - ・現在の運営「NPO法人金屋町元気プロジェクト」
 - ・対象地域:金屋町自治会全域
 - ・目指すべき姿(申請時):
高岡鑄物発祥の地として、地域住民が住みやすい街、来訪者が訪れたく、住みたくなるようなまちづくり
 - 【これまでの取組み】
空き家調査及び台帳作成、利活用できる空き家物件の特定
東京での移住セミナーでのPR、NPO法人の設立
空き家を活用した移住体験施設「さまのこハウス」の整備 等
 - 【今後の方向性】
さまのこハウスを活用した移住希望者の受入れ 等



石畳の道が続く金屋町の町並み



高岡銅器



実行委員会での打合せ

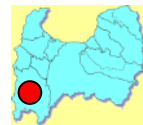


千本格子(さまのこ)の商店



宿泊体験・交流施設
「さまのこハウス」

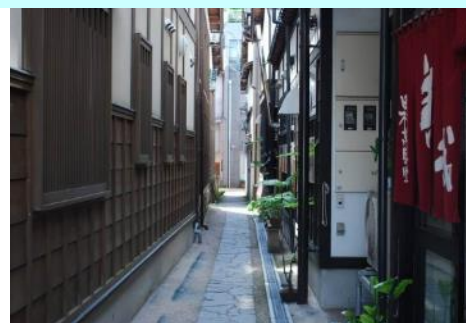
南砺市 城端地域（旧町部）



- 概要
南砺市旧城端町の中心市街地(旧町部)。越中の小京都と呼ばれる歴史と文化のある町並み。
近年は、アニメの舞台として描かれた街としても知られる。
- 人口 1858人、760世帯(R4.6)
- 想定される定住者
城端の歴史・伝統を活かしたまちづくりに取り組む方。
- ・実行委員会名「城端生き生きプロジェクト」(設立日H25.12.5)
 - ・対象地域:城端地区(旧城端町)
 - ・目指すべき姿(申請時):
城端地区の空き家を改修し、将来の地域文化の担い手となる人材の受入れ、地域の活性化を目指す。
- 【これまでの取組み】
空き家物件調査、建築の専門家や街づくりの専門家を招いた研修会、東京・神楽坂の伝統芸能イベントでのPR、空き家を活用した宿泊体験・交流施設の整備 など
- 【今後の方向性】
交流施設の整備(追加)、空き家利用希望者への情報提供 等



城端曳山祭り



町歩きしたくなる小道



実行委員会での打合せ



土蔵造りの町家が連なる



宿泊体験・交流施設

な なんと が 南砺市 利賀地域



○概要

岐阜県との県境、標高1,000mを越える山々に囲まれた山域。

劇団SCOT(主宰:鈴木忠志)による利賀フェスティバルが開催される、演劇の拠点。

○人口 468人、222世帯(R4.6)(H10に1,000人を切る)

○想定される定住者

演劇活動に取り組む方。

・実行委員会名「利賀地域定住促進事業実行委員会」
(設立日H25.12.5)

・対象地域:利賀地域(旧利賀村)

・目指すべき姿(申請時):

国内外の舞台芸術家が空き家を有効に活用し、利賀に滞在しながら創作活動を行う環境を整えることにより、地域としての魅力を上げ、演劇関係者以外の定住者を増やし、併せて演劇を支える人材の定住化を目指す。

【これまでの取組み】

空き家調査を行うとともに、利賀地域の気候・風土に合った空き家の改修モデルプランを作成

【今後の取組み】

他事業を活用し、空き家の有効活用を促進



野外劇場



冬に開催する利賀フェスティバル



空き家を改修した外国人の宿泊施設



劇団SCOTによる活動



利賀中村体育館を改修し、舞台芸術施設として活用

ひ み は や か わ 氷見市 速川地域



○概要

氷見市の中心部から車で15分程度に位置する、のどかな田園風景が広がる農村地域。

耕作放棄地を活用したサツマイモの6次産業化や地域伝統文化の継承など、地域の魅力向上の活動が活発。

○人口 1,145人、434世帯(R4.6)

○想定される定住者

地域の文化を理解し、地域に溶け込む意欲のある方。

・実行委員会名「速川地区定住促進委員会」(設立日H27.11.2)

・対象地域:速川地域自治振興会全域

・目指すべき姿(申請時):

移住者が地域コミュニティにとけこみ、地域が再生していくこと。

【これまでの取組み】

ホームページ作成、江戸時代のおもてなし料理の復元、地域紹介パンフレットの作成、移住体験交流施設の整備 等

【今後の方向性】

移住体験交流施設の運用、体験ツアーの実施 等



のどかな田園風景



耕作放棄地を活用したサツマイモ栽培



江戸時代のおもてなし料理
「速川流饗応料理」

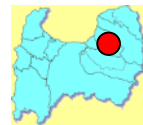


実行委員会での打合せ



移住体験・宿泊交流施設
「速川定住交流センター」

うおづ かたかい 魚津市 片貝地域



○概要

魚津市南東部に位置し、市中心部から車で10分程度の自然豊かな環境に恵まれた農山村地域。

地域の特産物を活用した「紅葉まつり」の開催や、女性有志による片貝地区の伝統食(漬物)の継承・発展活動など、様々な地域づくり活動に熱心に取組む。

○人口 984人、393世帯(R4.7)

○想定される定住者

地域の行事に積極的に携わっていける人。

・実行委員会名「片貝来られプロジェクト」(設立日H29.1.19)

・対象地域:片貝地域

・目指すべき姿:

20~40代の若い世代が定住し、活気ある地区となる

【これまでの取組み】

先進地視察、首都圏でのセミナー視察、移住促進パンフレットの作成 等

【今後の方向性】

首都圏でのPR、利活用できる空き家物件の調査 等



片貝地区遠景



片貝の豊かな自然を体験できる施設
「片貝山ノ守キャンプ場」



片貝川上流域を中心に自生する
天然スギの巨木「洞杉」



研修会での
グループワーク



地域の特産物を活用した
「紅葉まつり」

いみず うちかわ 射水市 内川周辺地域



○概要

射水市北部に位置し漁師町の風情残る内川エリアは、ノスタルジックな雰囲気漂い、「日本のベニス」とも称される映画やドラマのロケ地にもなった港町。

放生津地域振興会、新湊地域振興会を中心に、地元のNPO法人水辺のまち新湊と共に、まちづくりや移住促進などに関する活動に継続的に取り組んでいる。

○人口 2,266人、1,081世帯(R4.3)

○想定される定住者

- ・田舎暮らし、古民家暮らしを楽しもうとする方
- ・伝統文化と一緒に守っていく意欲にあふれた方
- ・内川が持つ個性ある風情を大切にしたいと思う方
- ・若者や子育て世代の方

・実行委員会名「うちかわ移住者受入モデル地域支援事業 実行委員会」(設立日H30.5.9)

・対象地域:内川周辺地域

・目指すべき姿:

移住者を含めた地域住民が、伝統文化(曳山や獅子舞等)や歴史的建造物(神社・寺院・地蔵尊・石碑等)を守り次世代に受け継いでいこうというマインドの醸成

【これまでの取り組み】

・空き家調査を行い、活かせる空き家を掘り起こし

・移住体験施設を活用した体験ツアーの実施

・地元住民や空き家の所有者等を対象にシンポジウムを開催

【今後の方向性】

利活用できる空き家物件の調査、空き家利活用に関するシンポジウムの開催 等



内川の町並み



空き家を活用した音楽会



移住体験施設
「ほうじょうづ」

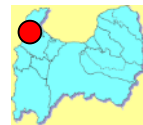


空き家大会議(オンライン)



曳山祭り

ひ み ろんでん くまなし 氷見市 論田・熊無地域



○概要

市中心部から車で15分程度に位置し、棚田等、自然豊かな環境に恵まれた農山村地域。国の重要指定文化財「藤箕(ふじみ)」の生産技術伝承や地元のもち米やヨモギを使った草もちの特産化にも取り組んでいる。

○人口 604人、221世帯(R4.6)

○想定される定住者

「藤箕」の技術伝承や、特産品の開発・生産を通じ、地域の魅力を発信し、交流・関係人口の拡大に寄与する人材。

・実行委員会名「ろんくま移住促進委員会」(設立日R3.6.26)

・対象地域:論田地域・熊無地域

・目指すべき姿:

移住者の受入を促進し、持続可能な地域を目指す

【これまでの取り組み】

空き家調査を行い、活用の可能性を検討

先進地視察や、専門家を招いてのワークショップの開催

【今後の方向性】

「集落の教科書」やホームページ作成、各種交流イベントの実施、
受入・情報発信研修の実施。交流施設の整備 等



論田・熊無地域

ろんくま移住促進実行委員会→



重要無形民俗文化財「藤箕(ふじみ)」



論田の草もち



お休み処くまなし